

名古屋市公会堂 ホールのお仕事 で 弟子入り 体験 ～ステージの音響・照明を操作してみよう～



7月22日（水）名古屋市公会堂では、夏休み特別企画としてホールのお仕事“弟子入り”体験を開催しました。

小学3年生～中学3年生までを対象に、公会堂の舞台技術スタッフが普段行っている仕事の一部を体験していただく内容で、定員を大きく超える応募がありました。

まずはホールのお仕事の概要説明からスタート。皆さん真剣な表情で聞いていました。

説明を受けたあとは、師匠たちについて舞台・音響・照明に分かれて実技体験。

音響班は、マイクを自分達で用意し、マイクスタンドを並べます。音響卓を色々操作することによって、マイクの声が高くなったり低くなったり、様々な効果があります。近くで説明を聞いているお母様方も興味津々です。

「声をいろいろかえるのが楽しかったです！」
「自分のしゃべっている声にエコーがかかっていてかっこよく感じた」



照明班の操作体験は、触るたびに色が変わり、ステージが彩られることで子どもたちも大喜び。

照明には、調光卓を使うことを初めて知って感激したという子もいました。

「ミラーボールをはじめて見た」
「照明の調整をしたことが心に残った」
「きかいにさわられて楽しかった」

舞台班は、舞台の台組みを体験しました。皆で息を合わせて平台や箱馬を運びます。チームワークがとても大切で、一人でも息を乱すと怪我をしたり、大変なことになります。台を置くときも、最後まで気を抜かないように、事前に説明がありました。

「楽しかった。もう一度やってみたい」
「ぶたいの台のせっちが楽しかったです」



体験が一通り終わったあとは、プロの舞台スタッフによる実演見本が始まります。演奏してくれたのは、中部楽器技術専門学校の生徒の皆さんです。

子どもたちは、自分たちが触った機材でこんなことが出来ることに驚き、感動していました。

「初めてやった僕の操作と、プロの人がやった操作の違いがすごくて、この仕事もいいかもしれないなと思った」

「光も音楽も、ぶたいにひきつけられそうでした」

最後に、公会堂の歴史を紹介する館内ツアーを行いました。玄関ロビーの天井や梁の装飾、柱、エレベーターの表示、開演ベルなどには、昭和5年の開館以来の歴史が刻まれています。初めて聞く説明に、特に保護者の方が興味を持たれていました。以上で本日の弟子入り体験は終了です。ご参加いただきました皆様、大変お疲れ様でした！

本日の体験を通して、舞台技術の仕事を理解し、興味を持っていただけたら幸いです。

